

対象国の条件：南部アフリカ開発共同体（SADC）加盟国

研修コース番号：201984611-J002

案件番号：201984611

主分野課題：経済政策/金融

副分野課題：経済政策/その他経済政策

使用言語：英語

案件概要

南部アフリカ地域は、豊富な地下資源への投資対象のみならず、政治的に安定する中進国における旺盛な消費活動により、潜在性のある新興経済市場としての存在感を高め、近年では本邦企業による事業拡大、新規進出も相次いでいる。その一方で、同地域は依然として貧困・経済格差、高い失業率といった構造上の課題を抱えていることから、各国政府は、公共債務を厳格に管理しつつも、インフラ開発、中小企業育成、農業振興への公共支出による国内景気刺激策をこれまで以上に重視する傾向にある。近年、持続的な成長をより確実なものとするために、各国の開発金融機関（DFIs）が多国間・二国間のドナーと協調するとともに、多様な民間の主体と連携を図りつつ、効果的・効率的なインフラの開発を行うことが重要となっている。本研修を通じて、DFIsとしてのガバナンスの確立（とりわけ政府との関係における独立性・透明性）、DFIsとしての資金調達や運用のあり方、DFIsのプロジェクトバリューチェーン（プロジェクトの発掘、形成、準備、審査、実施及びモニタリング）の強化に資する研修を具体的な事例も交えて行う。各研修員には、本研修で得られた知見をもとに、各国で取り組むべきアクション・プランの作成を求める。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
日本とアジア諸国の経済・産業発展プロセスで醸成されてきた開発金融機関（DFIs）の政府とのあるべき関係、DFIsとしての資金調達や運用、効率的かつ効果的なプロジェクトバリューチェーンの概念及び個々の内容、相関関係に関する知識が、各研修員に共有される。

【対象組織】
南部アフリカSADC諸国を中心とした開発金融機関（DFIs）

【成果】
1. 他国のDFIsにおける状況と比較し自国の課題が説明できる（自国の課題を理解する）。
2. DFIsとしてのガバナンス（とりわけ政府とのあるべき関係性（就中、独立性・透明性））が説明できる。
3. DFIsとしての資金の調達・運用のあり方を説明できる。
4. プロジェクトバリューチェーンの包括的な概念、個々の内容、相関関係等が説明できる。
5. DFIsにおけるガバナンス、資金の調達・運用及びプロジェクトバリューチェーンのためのアクション・プランが策定される。

【対象人材】
1. 職務案件
DFIsにおける管理職あるいは中間管理者層（部課長級）。
2. 言語
英語に堪能であること

内容

【事前活動】参加各国のDFIsにおけるプロジェクトバリューチェーンの現状、課題、問題点を記述した事前レポートが作成される。

【本邦研修】
1. 事前レポートの発表会
2. プロジェクトバリューチェーンの概要、個々の内容、相関機能に関する講義
3. 日本とアジアの経済産業発展の過程におけるプロジェクトバリューチェーンの詳細な例にかかる講義、視察
4. 日本とアジアの経験の適用可能性の検証
5. 参加各国のDFIsへのプロジェクトバリューチェーン強化に向けたアクションプランの準備と発表

本邦研修期間	2019/9～2019/10
担当課題部	産業開発・公共政策部
所管国内機関	JICA東京（産業公共）
関係省庁	財務省
実施年度	2017～2019

主要協力機関 (公財)国際通貨研究所、(一財)日本国際協力センター

特記事項
及び
ホームページ